

豊かな森林を守り・育て・活用するために

～森林を管理するための新しい仕組み～

平成31年度から森林を管理するための新しい仕組みが始まります。

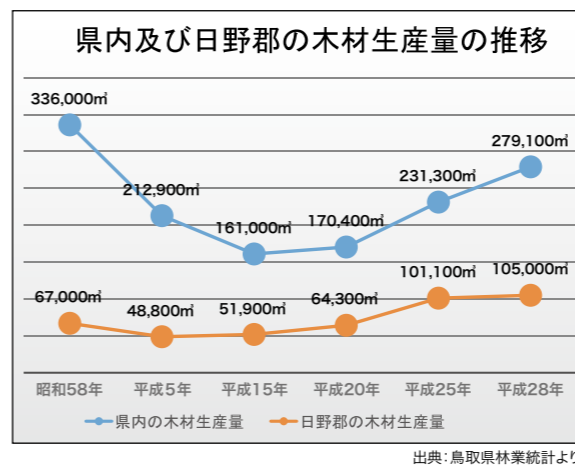
1 森林の大切さ

私たちは、森林に囲まれて生活しています。日野郡では森林の面積が全体の88%を占めています（日本全国では67%、鳥取県では74%）。この森林は、地球温暖化防止、国土の保全、水源のかん養、木材等の生産等の多くの機能を持ち、私たちの生活に大きな貢献をしています。



2 新たな木材需要

近年、日本では国産材の需要が増えつつあります。これは、合板に国産材が使われるようになったこと、木材を燃料とする発電所が建設されたことなどによるもので、境港市に合板工場、鳥取市と境港市に木質バイオマス発電所を抱える鳥取県でも同じ傾向であり、県内の木材生産量は近年増加傾向にあります。
※県内の木材生産量のうち、約40%が日野郡から生産されています。



3 適切な森林管理

このような新たな木材需要に 대응するには、森林の適切な管理を進め、計画的な伐採を行うことが重要です。伐った後には植林を行い、適切な保育作業を実施していくことや、健全に木を育てるために計画的に間伐を行うといった、循環的な林業経営を行うことが、今後ますます必要となってきます。



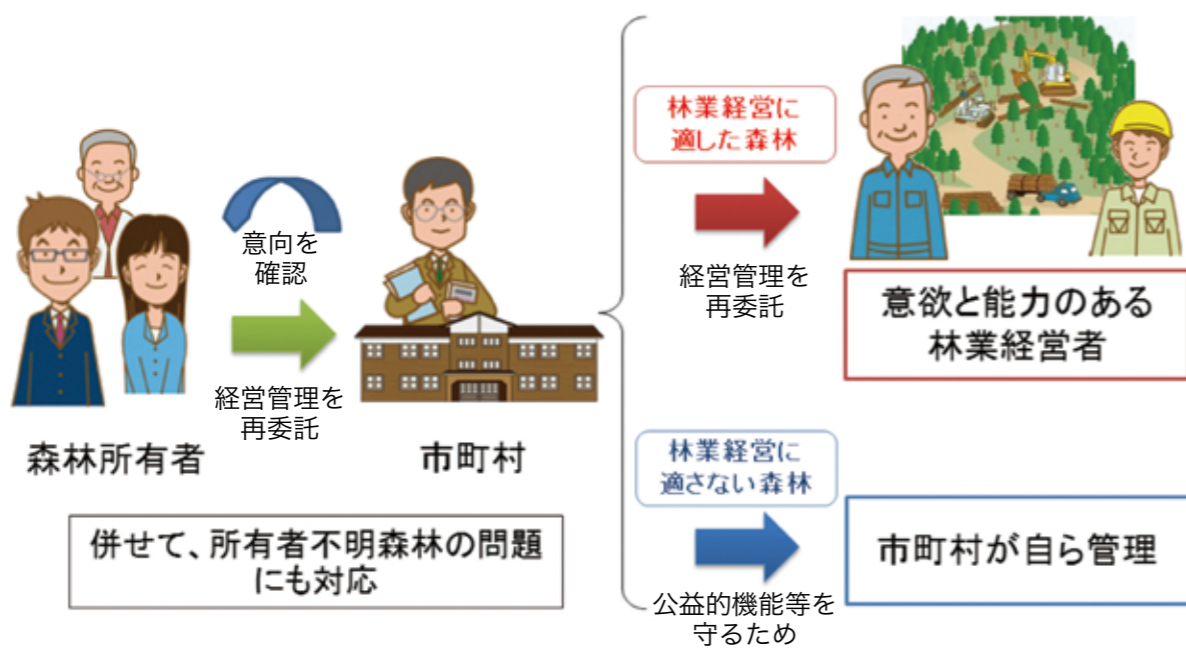
4 森林を管理するための課題

一方で、近年、手入れが行き届いていない森林が増えています。これは、手入れに対する森林所有者の意欲が低下したことに加え、森林所有者の世代交代等により森林への関心が薄れたことが原因であると言われています。手入れに対する意欲が低下したり森林への関心が薄れたのは、新築住宅戸数の減少や柱を隠してしまう洋室の増加などにより、無垢材（接着剤を使わない一本の原木から製材されたもの。）の利用が減少し、木材価格が低迷した時代が長く続いたことが大きな要因として考えられています。

5 森林を管理するための新しい仕組み

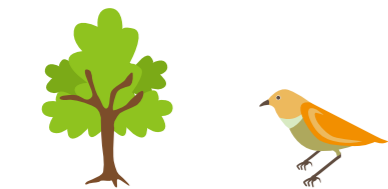
森林の適切な経営管理が行われないと、樹木やその根は細く、また林内には光が当たらず地表を覆う植物が生育できないため、災害防止や地球温暖化防止など森林の公益的機能の維持増進も十分に発揮できません。そこで、森林を管理するための課題を解決し、森林の公益的機能を維持増進するために、市町村が仲介役となり森林の適切な管理を行うことが難しい森林所有者と、森林の経営管理の担い手である林業経営者をつなぐ新たな仕組みが、平成31年度から始まることとなりました。

経営管理が行われていない森林について市町村が仲介役となり森林所有者と林業経営者をつなぐシステムを構築し担い手を探します



6 今後の予定

この新しい仕組みでは、森林所有者の意向を踏まえ、同意を得た上で意欲と能力のある林業経営者に管理を委ねることとなりますので、まずは森林所有者の意向を確認する作業が必要となります。今後は、各町と日野振興センターが連携しながら、新しい仕組みの具体的な進め方について検討していきたい、森林を所有する皆さんの思いにこたえつつ、森林を守り・育て・活用していく取組を進めていく予定です。



★お問合わせや相談等は、最寄りの町役場、または日野振興局農林業振興課までお願いします。

☎ 日野振興局 農林業振興課
電話0859-72-2018